

新型コロナウイルス感染症の総括と今後の課題

講師：松本 哲哉 先生

国際医療福祉大学医学部感染症学講座 主任教授

主催 一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

【講演要旨】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が発生してから2年半以上が経過し、世界の感染者数の累計は6億2千万人に達し、死者数は6百万人を越えた。2022年はオミクロン株が瞬く間に世界に広がってさらに感染を拡大させた。診断面ではPCRに加えて各種遺伝子検査法や抗原定量検査も活用されており、一般の人々が自分で検査キットで診断ができるようになった。治療においては内服の治療薬を早期に投与できれば重症化予防が期待できるようになった。また、メッセンジャーRNAワクチンは期待以上の効果を示したが、残念ながら時間の経過とともに抗体価は低下し、繰り返して接種せざるを得ない状況となっている。このようにコロナを取り巻く状況は常に変化しており、社会はウィズコロナ、あるいはポストコロナへと移行しようとしている。ただし、まだ今後の収束の見通しは不透明な状況の中で、引き続き、適切に対応していく必要があると考えられる。

【講師略歴】

1987年長崎大学医学部を卒業後、同第二内科に入局。米国ハーバード大学留学後、東邦大学講師、東京医科大学主任教授（感染制御部部長兼任）を経て、2018年から国際医療福祉大学医学部感染症学講座主任教授に就任し、2020年より国際医療福祉大学成田病院感染制御部部長を兼務。

【関連著書】

臨床微生物学（編集、医歯薬出版株式会社）

新型コロナウイルス「オミクロン株」完全対策 BOOK（宝島社）

福祉現場のための感染症対策入門（中央法規）

【所属学会等】

日本化学療法学会（理事長）、日本臨床微生物学会（理事長）、AMEDプログラムスーパーバイザー、東京iCDC感染制御チームリーダー

【日時】2023年1月21日（土）午後2時30分～4時30分

【参加費】無料 【定員】100名（接続数）Webオンラインでの参加のみとなります

申し込み方法

- 1、勤務先・職種・氏名（フリガナ）をもれなく記入のうえ、研修会の期日と開催回数を明記し、メール(seminar@byotai.or.jp)にてお申し込みください。（記入もれがある場合、返答できません。あらかじめご了承ください。）
- 2、申込者へは順次、受講申込への返答をメールで送付いたします。
- 3、勤務先ごとでまとめて、お申し込みください。同一施設で複数名申し込みの場合は施設視聴をお勧めします。

*定員到達後の申込者へは「締切済」通知をメールで送付します。先着順で締め切ります。あらかじめご了承ください。

注記：本財団は個人情報保護法を遵守し、いただいた情報は、本研修会に係る受付・運営のみに利用いたします。申込の内容に関する照会・修正等につきましては下記「医療技術者研修企画係」へご連絡をお願いいたします。

〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町26-2 TEL:03-3956-4120

一般財団法人東京保健会 病体生理研究所 医療技術者研修企画係